

技術情報

J A全農やまぐち

TAC 営農推進課 (083-988-0681)

平成24年7月5日 発行

第 160 号

県内一斉草刈りで斑点米カメムシ対策

7月7日～16日は県内一斉草刈り時期です。

斑点米カメムシ対策は畦畔等イネ科雑草の刈り取りが基本です。病虫害防除所作成のチラシ及び下記を参考に、畦畔草等の一斉草刈りが徹底されるようご指導をお願いします。

記

1 草刈り実施期間：7月7日～16日（ただし、出穂の2週間前まで）

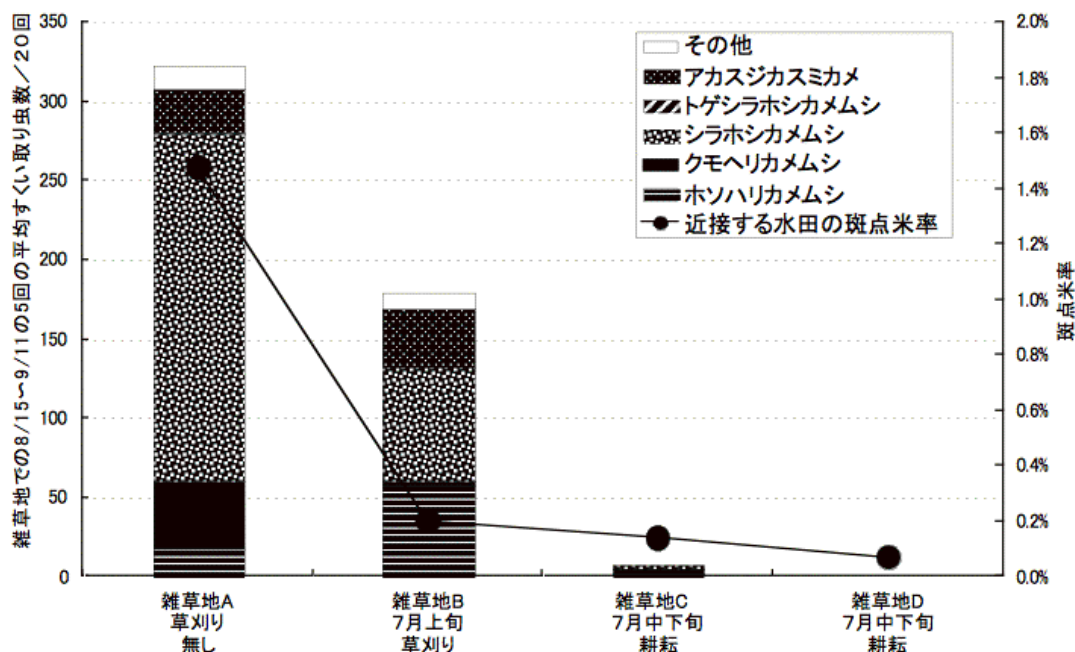
2 斑点米カメムシの発生及び草刈りの効果・留意事項について

(1) 斑点米カメムシの発生について

- 山口県における斑点米カメムシの主要な種類は大型のクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ及び小型のアカスジカスミカメです。このほか近年の温暖化の影響で九州や南四国地域に生息しているミナミアオカメムシが新たに発生しています。
- 斑点米カメムシ類はエノコログサやメヒシバ等のイネ科雑草の穂を餌にして増殖し、イネが出穂すると圃場に侵入・加害します。

(2) 草刈りの効果及び留意事項について

- 畦畔等の草刈りは斑点米カメムシ類による被害の軽減に効果が高く（図）、特に7月中旬まではクモヘリカメムシのエノコログサでの増殖が旺盛なことから、7月中旬の草刈りは特に有効です。また、畦畔の草刈りは移動性の小さなアカスジカスミカメムシに対して特に効果が高い。
- 水稻の出穂前後の草刈りは水稻への斑点米カメムシ類の移動を助長するため、水稻の出穂2週間前までに実施し、その後は新たな穂が出ないように管理してください。



(山口県農林総合技術センター 2001年)

県内一斉草刈りで 斑点米カメムシ対策を！

7月7日～16日

は畦畔、休耕田の草刈りを徹底 (ただし出穂の2週間前まで)

★斑点米カメムシ類の餌となる主な雑草



エノコログサ



ヒエ



メヒシバ

斑点米カメムシ類の薬剤防除
穂揃期と穂揃期後7日の2回防除を徹底

★山口県の主要な斑点米カメムシ類



クモヘリカメムシ
体長15-17mm



ホソハリカメムシ
体長9-11mm



アスジカスミカメ
体長4.6-6mm



ミナミアオカメムシ
体長12-16mm

温暖化で増加中

ミナミアオカメムシの発生に注意

これまで山口県内ではほとんど確認されていませんでしたが、近年の地球温暖化による影響で県内各地で認められています。

主に出穂後に水田に飛来するので、発生を認めた場合は薬剤防除を徹底してください。



成虫



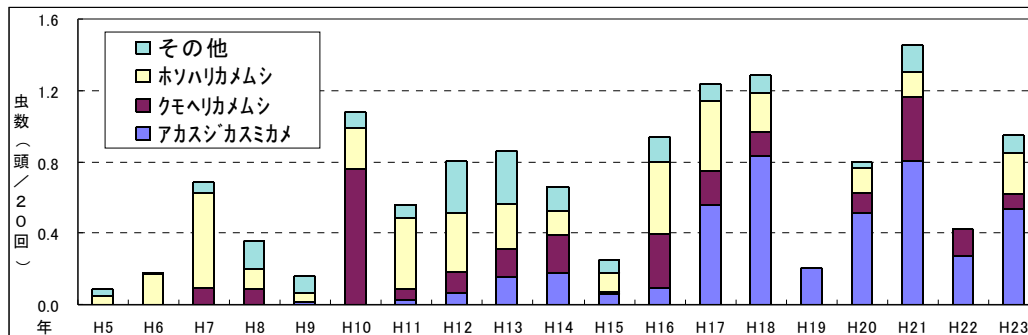
集団で穂を加害する幼虫



5 齢幼虫

斑点米カメムシ類は近年増加中

近年、斑点米カメムシ類の発生が増加しています。特に、アカスジカスミカメの発生が目立っています。



水田内での捕獲数の推移 (8月上旬)

病害虫発生予察情報をメールでお知らせ

予報、注意報、警報等の概要をメールでお届けします。

- ◆ パソコンでは、「やまぐち農林水産. ネット」の「メール情報提供サービス」に接続しアドレスを入力

https://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/mailhaisin/h_top.html

- ◆ 携帯電話では、病害虫防除所に「メール配信希望」と記入し送信

Mail: a172011@pref.yamaguchi.lg.jp

- ◆ 送付された確認のメールのURLに接続すると作業は完了です。

- ◆ 情報料、登録料は無料です。

- ◆ お問い合わせ先

病害虫防除所

Tel: 083-927-4006

Mail: a172011@pref.yamaguchi.lg.jp



病害虫防除所にメールを送信